

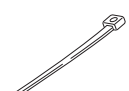


据付(電気)工事説明書

ワイヤードリモコン

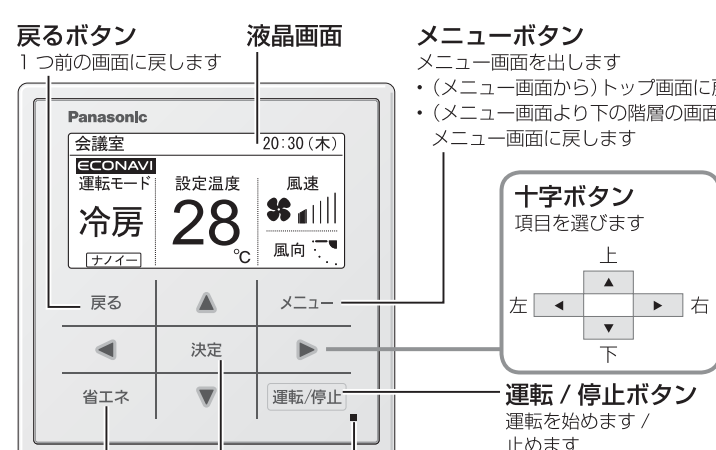
品番 **CZ-10RT4B**

- 据付(電気)工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「据付(電気)工事説明書(補足)」、「取扱説明書」ともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 据付(電気)工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けられたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 室内ユニットなどに付属の据付説明書も合わせてご覧ください。

付属品		
小ネジ M4×2.5 (2本)  (埋込型 JIS ボックス用)	ホネジ M3.8×1.6 (2本)  (露出型 壁面用)	結束クランパー (1個) 
取扱説明書(1冊) 据付(電気)工事説明書(1枚) 据付(電気)工事説明書(補足)(1枚)		

※リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

各部の名前



戻るボタン
1つ前の画面に戻します

液晶画面

メニューボタン
メニュー画面を出します
・(メニュー画面から)トップ画面に戻します
・(メニュー画面より下の階層の画面から)メニュー画面に戻します

十字ボタン
項目を選びます

省エネボタン
省エネ運転/通常
運転を切り換えます

決定ボタン
選んだ内容を
決定します

運転/停止ボタン
運転を始めます/
止めます

運転表示ランプ
運転時、点灯します(緑)
警報時、点滅します(緑)

お知らせ

- 操作は、ボタンの中央付近を押してください。
- 手袋を着けた状態では、操作できません。
- スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。
- 接続する室内ユニットによっては、液晶画面の表示が異なる場合があります。













安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

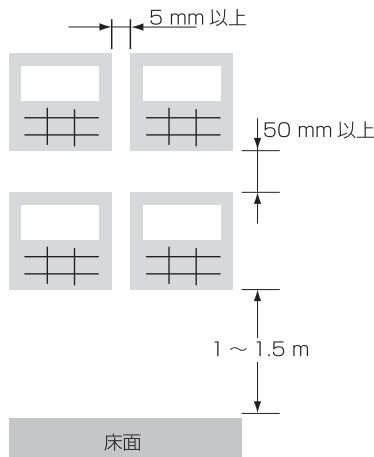
■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	 注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	 してはいけない内容(禁止事項)です。	 実行しなければならない内容(強制事項)です。
--	--	--	--

 警告		 注意
 分解や改造は行わない (感電・火災の原因)	 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する ● 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。 (発熱・火災等の原因)	 次のような場所で使わない ● 可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ ● 腐食性ガス等の漏れるおそれのあるところ ● 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ ● 電圧変動の多いところ ● 電磁波が出る機械のあるところ ● 有機溶剤の飛沫するところ ● 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレー等を頻繁に使うところ ● 結露するところ (感電・火災等の原因)
 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する (感電・火災等の原因)	 据付は、リモコンの重さに十分耐える所に設置する ● 取付強度を確保できない場合には、必ず強度を確保できる補強を行う。 (落下の原因)	 ぬれた手で操作しない (感電の原因)
 据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う (感電・火災等の原因)	 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う (感電の原因)	 水洗いしない (感電・火災の原因)
 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う ● 電気設備に関する技術基準 ● 内線規程 ● 据付(電気)工事説明書 (感電・火災の原因)		

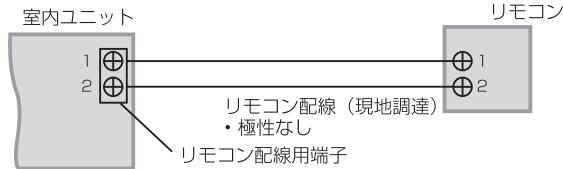
設置上のご注意

設置場所など



- 床面から 1 ~ 1.5 m の高さに設置する (室内の平均的溫度を感じる場所)
- 床面に対して垂直に設置する
- 複数並べて設置するときは、左右 5 mm、上下 50 mm 以上離す
- 次のような場所に設置しない
 - ・ 直射日光や直接外気が当たる、窓際等
 - ・ 室内の空気の流れから外れた、物かげや物の裏側等
 - ・ 結露するところ (防湿・防滴仕様ではないため)
 - ・ 近くに熱源があるところ
 - ・ 据付面に凹凸があるところ
- テレビ・ラジオ・パソコンから 1 m 以上離す (映像の乱れ・雑音の原因)

リモコン配線



配線の種類

- 柔軟性のある、0.5 ~ 1.25 mm² のケーブルを使う。
 - 単線は使わない。
 - シース部含む絶縁物の厚みが 1 mm 以上ある配線を使う。
 - 推奨品 ※ () 内: エコ電線
 - ・ VCTF (EM-ECTF)
 - ・ VCT (ECO120)
- ※ エコ電線について: 紫外線 (日光・照明など) の影響を受ける場合は、遮光するが耐紫外線用を使う。

お願い

- 誤って、室内ユニットの他の端子 (電源配線用端子など) に接続しないよう、注意してください。(故障の原因)
- 電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。(誤動作の原因)
- ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付けてください。

総配線長

500 m 以内。
(グループ内にワイヤレスリモコンがある場合は 400 m 以内)
(室内ユニット間のリモコン配線は、200 m 以内)

接続可能台数

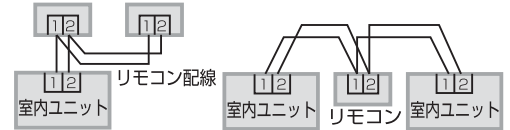
リモコンは、最多 2 個。
室内ユニット、熱交換気ユニット合わせて、最多 8 台。
※ 室内ユニットは、1 台以上必要。

接続可能な熱交換気ユニット

- ・ 天井埋込形・マイコンタイプ MZD9 シリーズ
- ・ 天井吊カセット形・マイコンタイプ MZB9 シリーズ

※ 以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。

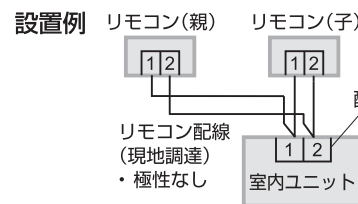
リモコン(親) リモコン(子)



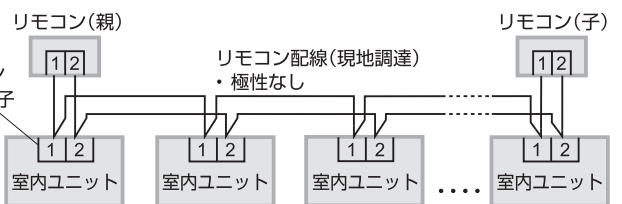
リモコンを親子で設置するとき

設置後、「設定する」(裏面)の「リモコン親子設定」を行い、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。旧シリーズのリモコン(CZ-10RT3/CZ-10RT4 など)と併用する場合は、本機を「親リモコン」に設定してください。

室内ユニットが 1 台のとき



室内ユニットや熱交換気ユニットが複数台のとき



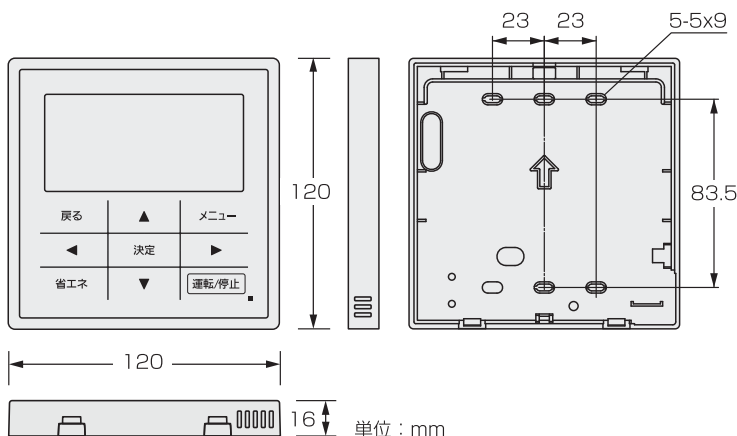
お知らせ

- どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。
- 室内ユニットがオフィス・店舗用の R32 冷媒機種の場合、別紙「据付 (電気) 工事説明書 (補足)」も合わせてご覧ください。

仕様

品番	CZ-10RT4B	
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 16 mm	
質量	180 g	
使用温度・湿度範囲	0 °C ~ 40 °C · 20 % ~ 80 % (屋内設置専用)	
電源	DC16 V (室内ユニットより供給)	
時計	精度	± 30 秒 / 月 (常温 25 °C) ※ 定期的に合わせてください。
	保持時間	72 時間 (満充電時) ※ 満充電に約 8 時間かかります。
接続台数	室内ユニット 最多 8 台	

外形寸法

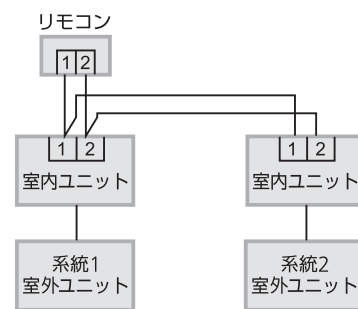


ローテーション運転について

システムによって運転時間が偏らないよう、交互に運転停止させて運転時間の均一化を図ります。

- ローテーション運転は、オフィス・店舗用エアコンのシングル(室外ユニット1台)に対して室内ユニット1台の組み合わせ2システムをグループ制御した時のみ設定可能です。
- バックアップ運転は、警報発生時や、能力不足などで室温・設定温度が設定値にならないときに、待機中のシステムがサポート運転を行います。

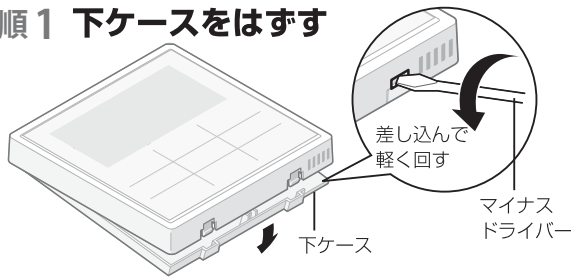
リモコン配線のしかた



ローテーション運転をする場合の設定は、付属の取扱説明書をご覧ください。

取り付ける

手順1 下ケースをはずす

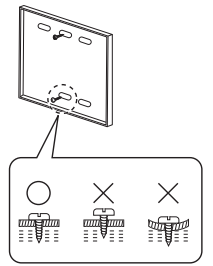


お願い

- 下ケースを取り付けるとき(手順2①)
 - ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。(上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因)
 - ネジは、締めすぎないでください。(下ケースの変形による、落下の原因)

■ 上ケースを取り付けるとき(手順2③)

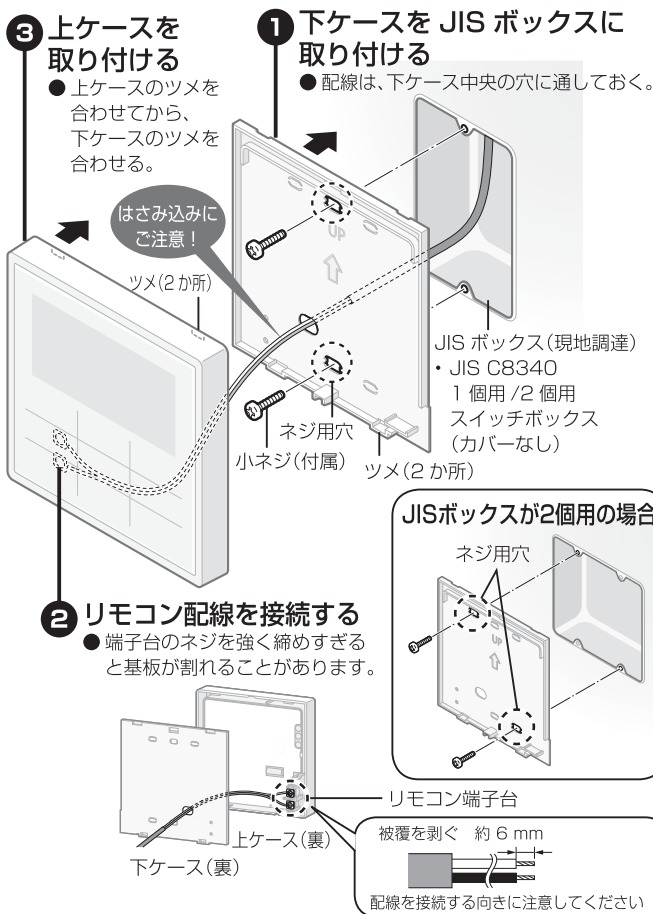
- 余分な配線をリモコンケースに収納しないでください。(配線はさみ込みによる基板破壊の原因)
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。(配線はさみ込みによる基板破壊の原因)



手順2 壁に取り付ける

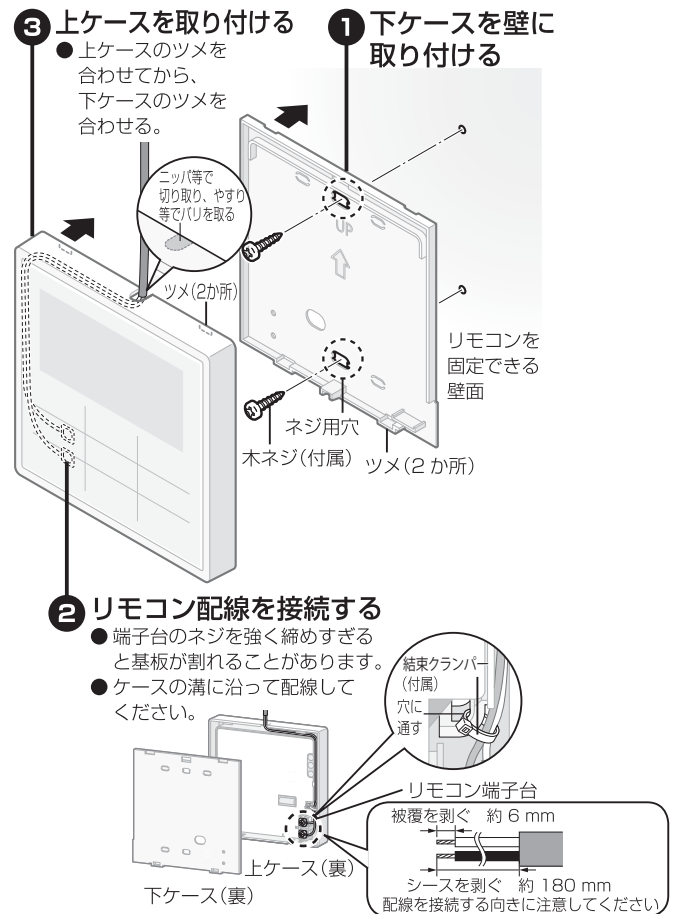
埋込型の場合

準備: 使用するJISボックスに対応するネジ用穴(2か所)を、ドライバー等で開けておく。



露出型の場合

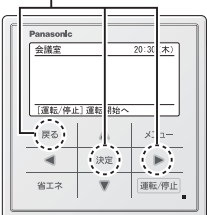
準備: ネジ用穴(2か所)をドライバー等で開けておく。



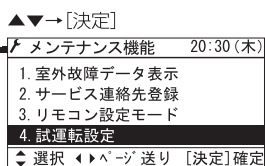
試運転する

準備: ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器(電源)を入れてください。リモコンが起動し、「設定中」の表示が消えるまでお待ちください。(10分以上「設定中」が点滅表示する場合は、室内ユニットのアドレス設定を見直してください)

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

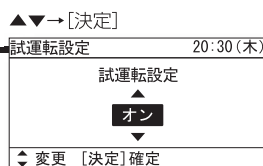


2 「試運転設定」を選ぶ



3 「オン」を選ぶ

(試運転モードになる)



4 試運転する

運転/停止 押す



お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。(ユニットに無理がかかるため)
- 暖房 / 冷房 / 送風のいずれかのみ運転できます。
- 温度変更はできません。
- 試運転モードは、60分後自動で「オフ」になります。(連続試運転の防止)
- 電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。

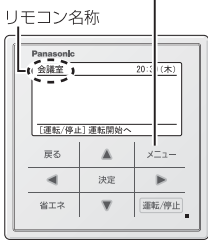
■ 試運転を終了する

手順1・2を行い、手順3で「オフ」を選ぶ。
(「試運転」表示消灯)

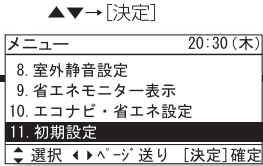
設定する

時計設定 / リモコン名称設定のしかた

1 メニュー 押す



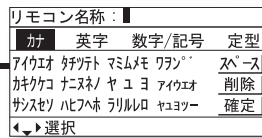
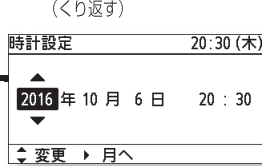
2 「初期設定」を選ぶ



3 設定する項目を選ぶ



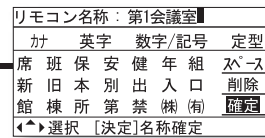
4 設定する



※ 全角 8 文字 / 半角 16 文字まで。
(スペースも文字数に含む)

※文字入力のしかた

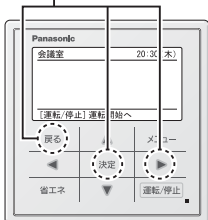
- 文字種を変更するとき
▲▼◀▶で文字種を選び、[決定]
- 既定の名称から選ぶとき
▲▼◀▶で「定型」を選び、[決定]
- スペースを入力するとき
▲▼◀▶で「スペース」を選び、[決定]
- 1 字消すとき
▲▼◀▶で「削除」を選び、[決定]



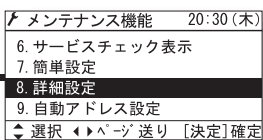
「確定」を選ぶ
▲▼◀▶→[決定]

サービス連絡先登録 / リモコン親子設定 / パスワード設定 / 熱交換気運動設定① / 換気扇との接続 / 室温センサー設定 / 熱交換気運動設定② / 自動アドレス設定のしかた

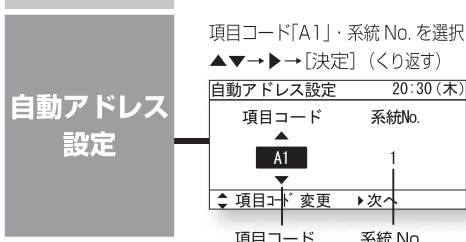
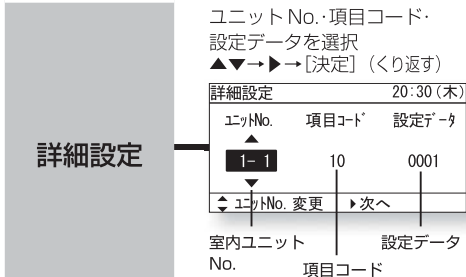
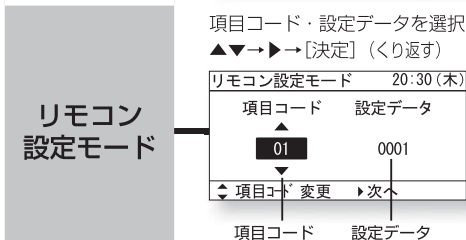
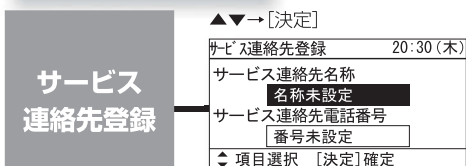
1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2 設定する項目を選ぶ



3 設定する



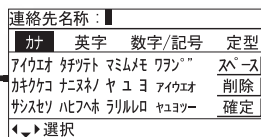
お知らせ

- リモコン設定モード・詳細設定・自動アドレス設定は、終了時に再起動を行います。

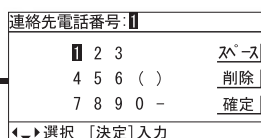
お願い

- 自動アドレス設定は、全ユニットの電源を入れ、1分30秒以上たってから行ってください。
- 自動アドレス設定を行ったあとは、1分30秒以上たってから運転してください。
- 集中制御アドレス設定は自動アドレス設定終了後に行ってください。接続する集中制御機器に付属の説明書も合わせてご覧ください。

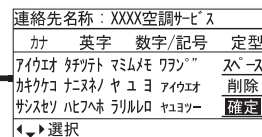
※文字入力のしかた参照



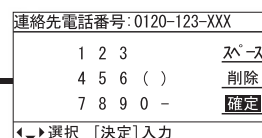
※ 全角 8 文字 / 半角 16 文字まで。
(スペースも文字数に含む)



※ 半角数字 16 文字まで。(スペースも文字数に含む)



「確定」を選ぶ
▲▼◀▶→[決定]



「確定」を選ぶ ▲▼◀▶→[決定]

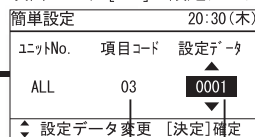
項目コード	設定データ
01	リモコン親子設定 リモコンを 2 個設置するとき設定します。 ●0000：子 ●0001：親(出荷設定)
2F	パスワード設定 管理者パスワードを設定します。 ●0000～9999 ●0000(出荷設定)
2B	熱交換気運動設定① エアコンの運転 / 停止と、接続している熱交換気ユニットを連動させるとき設定します。 ●0000：連動なし(出荷設定) ●0001：連動あり
31	換気扇との接続 室内コントロール基板上の換気扇出力[FAN DRIVE: 2P(白)]に市販の換気扇等を接続するとき設定します。 ※専用配線(別売品)が必要となります。 ●0000：接続なし ●0001：接続あり
32	室温センサー設定 リモコンの室温センサーで室温を測るとき設定します。 ・親子接続の場合は、親リモコンが有効になります。 ・グループ制御時は、親機の室内ユニット No. に設定してください。(子機の室内ユニットは設定不要) ・リモートセンサーと併用する場合は、設定データを室内ユニット側にしてください。 ●0000：室内ユニット側 ●0001：リモコン側
D7	熱交換気運動設定② 室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換えるとき、設定します。(「換気モード」が「自動換気」のときのみ) ※熱交換気ユニット(ユニット No.31-XX)の設定項目になります。 ●0000：オフ ●0001：オン

項目コード	系統 No.
A1	自動アドレス設定とは、室内ユニットと室外ユニットの間を系統アドレス毎に自動で関連付けする操作です。自動アドレスをする系統(室外ユニット)の系統番号を選んでください。 ●室外ユニットの系統番号

集中制御アドレス設定 (ON/OFF 集中コントローラーなどの集中制御機器を接続する場合)



項目コード [03]・設定データを変更



● ユニット No. 選択位置で「戻る」→終了